

j32 異物の混入によるぶく

欠点の外観上の特徴：

陶磁器の釉面や素地面に発生する膨れ。

検査・試験方法：

欠点の原因：

泥漿や釉に混入した異物（主に石膏型の石膏、棚板からのボロ等）が焼成中に反応して発生したガスの抜けた跡が釉表面に孔となって残った。（石膏は熱で分解して亜硫酸ガスを発生する。棚板の炭化ケイ素は釉中のナトリウムと反応して炭酸ガスを発生する。）。混入した異物の大きさが大きいとぶくになる。

欠点の防止対策：

一度石膏型につけた土を再利用する場合には石膏の混入に注意する。

鑄込み泥漿や釉は篩を通して使うと異物や気泡が取れる。

棚板からのボロ降りに注意する（欠けたり亀裂の入った棚板を使わない）。

その他：

ピンホールの項も参照のこと。